

没後30年企画

飯島 正

ある

活動狂の面影

映画はぼくと一緒に成人した。

映画に目まぐるめたぼくと
芸術に目まぐるめたぼくと
映画

会期/2026.

3.24(火)・5.17(日)

開室時間/10:00~18:00 日曜10:00~17:00

※5/3(日)~5/6(水)は閉室 ※3/28(土)、4/4(土)、5/2(土)は10:00~17:00

入場無料

図書館入館資格のない方でもご覧いただけます。

会場/早稲田大学総合学術情報センター2階展示室

主催/早稲田大学図書館

※使用した飯島正肖像は古川治氏撮影



著作
「ヌーヴェル・ヴァーグの映画体系」

没後30年企画

飯島 正、ある活動狂の面影

Carlson's Journal

映画に目ざめたぼくと芸術に目ざめた映画

「早稲田」と「映画」の文字が並ぶとき、みなさんはいったい誰を思い浮かべるのでしょうか。おそらく枚挙に暇がないほど、多くの高名な人物があがることは想像に難くありません。古くは坪内逍遙の時代より、多くの演劇人・映画人・放送人を輩出してきた早稲田大学において、かつて「映画科」創設の礎を築くため、大学から熱烈な招聘を受けた人物がいました。日本における映画批評の先駆者であり確立者、飯島正（1902-1996）、その人です。早稲田大学図書館には、定年まで本学で教鞭を執った氏が世界各国から集めた、貴重な蔵書のコレクションが存在します（飯島文庫＝文庫26）。2026年春、彼の没後30年の節目に、未公開分を含めた貴重な資料群をご紹介します。

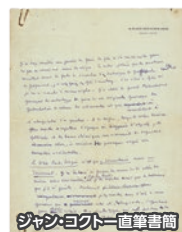
映画はぼくと一緒に成人した。



著作「ヌーヴェル・ヴァーグの映画体系」直筆原稿



雑誌「映画旬刊」表紙



ジャン・コクトー直筆書簡



著作「ヌーヴェル・ヴァーグの映画体系」



脚本・シナリオ企画書



著作「試写室の椅子」直筆原稿

会期／2026.3.24 (火)～5.17 (日)

開室時間／10:00～18:00 日曜10:00～17:00

※5/3(日)～5/6(水)は閉室 ※3/28(土)、4/4(土)、5/2(土)は10:00～17:00

会場／早稲田大学総合学術情報センター2階展示室

主催／早稲田大学図書館

入場無料

図書館入館資格のない方でも
ご覧いただけます。